

WEEKLY

例会場
事務局
ロワジールホテル豊橋 TEL.0532-48-3131
豊橋市藤沢町141
ロワジールホテル豊橋本館9階 926号室
TEL.0532-35-9973 FAX.0532-39-3743
http://www.toyohashi-golden-rc.jp
email golden@toyohashi-golden-rc.jp

ステファニー A. アーチック会長
RIテーマ

吉川公章ガバナー
地区方針

本多英司会長
クラブ方針

THE MAGIC OF ROTARY

魅力あるクラブ 持続可能な奉仕活動
成長するロータリー

選ばれるブランドを育てよう

第9回(通算1667回)例会報告	令和6年9月6日(金)	卓話例会
ゲスト	有限会社アルマック 代表取締役 彦坂高司氏、東愛知新聞社 林大二朗記者	
出席報告	総会員数57名(計算会員数52名) 欠席42名 出席率80.77% 前々回修正出席率91.30%	
歌/会場	国歌・奉仕の理想	会場：ロワジールホテル豊橋 30F「ル・モン」12:30～

会長の時間



本多英司会長

皆さんこんにちは。先週の台風の被害はなかったでしょうか。様々な予想を覆す台風で、日本中が混乱した1週間でした。近隣でも大変な事故が起き、改めて自然の脅威を感じるところです。

年の初めには能登半島地震が起き、お盆には極めて異例となる、南海トラフ地震の注意報が発令させるなど、まさに私たちを取りまく環境は、いつ災害が起きてもおかしくない状況だと言っても過言ではありません。そんな中、本日はまさにタイムリーな講師の方にお越しいただいております。詳細は後ほどご紹介がありますので、しばしお待ちください。

さて、最近、「地区補助金」とか「グローバル補助金」とか、あまりなじみのない言葉が頻繁に出てくるようになりました。そこで、今日の会長の時間では、それら補助金と、私たちクラブの事業についてお話したいと思います。

これら補助金は、「ロータリー財団」という、国際ロータリーから会計上独立した法人から支出される補助金です。私たちロータリアンは、クラブを通じてロータリー財団へ毎年一定額以上の寄付をしています。その寄付金額は各クラブ、各個人によって様々です。

財団の成り立ちや仕組みについては、11月8日のロータリー財団担当例会にて、杉田委員長がお話されますので、私は当クラブの補助金事業への取り組みについてのみお話しします。

私たちが本年度活用しようとしている補助金は、「地区補助金」と「グローバル補助金」の二つです。

まずは「地区補助金」から。地区補助金は、経済・教育・環境・平和など、地域社会のニーズに即した貢献・奉仕活動をするとき、クラブから申請して、採択されれば支出される補助金です。その金額は、現在のルールでは、そのクラブが3年前にロータリー財団へ寄付した寄付金総額の23.75%が、ドル建てで支払われます。

当クラブへ置きなおすと、2021-22年度のロータリー財団への寄付金が5143ドルでしたので、その23.75%の1221ドルとなります。採択時のロータリーレートが

161円/ドルでしたので、日本円にして196,581円です。このルールは3年前からで、それ以前は違ったのですが、詳細は今回は省きます。

当クラブは、コロナ前に、4回、地区補助金事業を行った実績があります。

2010-11年度 豊橋動植物公園で市内12の高校を対象とした青少年奉仕事業

2011-12年度 東日本大震災への支援事業

2012-13年度 海外からの留学生と教諭との交流をテーマとした国際奉仕事業

2013-14年度 高校生と若者が豊橋の未来を考える青少年奉仕事業

その後9年ほどご無沙汰しておりましたが、コロナ明けの2022-23年度、杉田会長年度に、コロナ後のクラブ活性化の起爆剤の一つとして、地区補助金事業を実施しました。

コロナ後最初の地区補助金事業は、豊橋動植物公園で、社会奉仕活動として、環境保全の啓発活動に取り組みました。委員長は、加藤社会奉仕委員長。内容としては、絶滅危惧種保全のための看板を設置、さらに動物を紹介するホームページの制作、そして私たち会員によるチラシ配布などの広報活動でした。当時石原雑誌委員長の尽力もあり、ロータリーの友の活動報告コーナーで、見聞きを飾る事業となりました。

ご存じの方も多いと思いますが、豊橋動植物公園は、年間来場者100万人を超え、日本でも上位に位置している動物園です。そして、この規模の動物園のある市町というのは、全国でもとても少なく、市内外に発信力のある豊橋動植物公園に着目したことは、公共イメージの向上の観点からも、とても良い事業だったと思います。

その翌年である昨年度も、地区補助金を使い、豊橋動植物公園で社会奉仕活動を実施しました。委員長は、石原社会奉仕委員長。絶滅危惧種保全の取り組みを更に深化させ、主に小学生を対象として絶滅危惧種動物の生態を紹介し、生育地域の状況等を子ども達に伝える機会を作るといったものです。内容としては、絶滅危惧種の頭骨レプリカ等、見聞きするだけでなく触って学べる教育用キットを作成し、事業当日に園内にて出前講座を行いました。市内小学生全員に、それらのチラシを配布し、あつという間に定員に達するほどの良い反響でした。

これらの取り組みは、実際に豊橋動植物公園の方々からも高い評価をいただいております。

そして今年度も地区補助金を使い、同じく豊橋動植物公園で、保永社会奉仕委員長を中心として、社会奉仕活動を計画しています。もちろん、グローバル補助金事業同様、クラブ事業として、クラブ全体で成功に導きたいと思っております。内容については、理事会で詳細の審議がされていないので、今日のところは差し控えます。

私は、3年間、理事会に在籍しているので、全ての事業を立案段階からみてきました。すごく興味深いのは、各委員長の特色がしっかりと現われるなあ、というところです。

加藤委員長はスタートアップとして先駆者的な立ち位置で、石原委員長は子育て世代として子供や親子を中心とした立ち位置で。そして保永委員長は、日頃目立たないところにいるけど、ものすごく頑張っている人たちをリスペクトし、クローズアップしていく立ち位置で。

みなさんそれぞれ自分“らしさ”が事業に表れていると思っております。

今年度、11月17日(日曜日)が豊橋動植物公園での地区補助金を使った社会奉仕事業となります。みなさま、しっかりとご予約いただき、ご参加・ご協力をお願いいたします。

時間いっぱいになったので、今日はここまでとし、次回以降、続きをお話させていただきます。ご清聴ありがとうございました。

波瀾万丈の意味は、大波小波が落差激しく次々とうねり来るように人生の浮き沈みがきわめて激しく、劇的であるという意味です。百戦錬磨の皆さんですから、様々な人生の浮き沈みがあつたと思います。例えば、ロータリーと関係あることはもちろん、全く関係ない事でも問題ありません。あと、仕事のことでプライベートのことも構いませんが、会報には掲載しますのでそれに差支えないことであれば内容は問いません。ただ、人生の浮き沈みですから、良かった事と悪かった事など、山と谷といった具合に話して頂けますと聞いていて楽しいと思います。

例えば、今までの人生の中で最高に楽しかったことと、最悪に苦しかったこと。仕事で儲かってしょうがなかったことと、信じられないぐらい失敗したこと。あと、人生最大のモチ期と人には言えない暗黒の時代など。いかがでしょうか。イメージはできましたか。ネタは皆さん豊富にあると思います。

基本的には、理事会・アッセンブリーメンバー以外の会員の皆さんに対してスピーチをお願いしていますが、それが一巡したら理事会・アッセンブリーメンバーの方にもお願いすることがありますので油断は禁物です。今のうちに心の準備をして頂きたいと思っておりますが、最後に皆さんに1つ、体調管理をしっかりとして当日は必ず出席して頂くことだけ切にお願い申し上げます、私からの「会員スピーチ対策講座」を終了します。

入会記念日祝い



鈴木紳昭会員 梅田英樹会員 高井龍雄会員

南海トラフ地震とBCP



有限会社アルマック
代表取締役 彦坂高司氏

◆講演内容(項目)

1. 南海トラフ地震とは
2. 南海トラフ臨時情報とは
3. 能登半島地震から学ぶ企業防災
4. 「事業継続」BCP「事業継続力強化計画」とは
5. BCP作成状況(国内)調査報告より
6. 地域社会として南海トラフ地震に備える

会員スピーチ「波乱万丈の人生について」



高橋哲也会員

皆さんに会員スピーチをお願いする役割でありましたが、急きょ昨日、お願いしていた方が体調不良で欠席となり、急にお願いできる方がいるはずもなく、代打「オレ」で登場しました。本多会長も気を使って頂き会長の時間、いつもより長く話をさせて頂きまして感謝申し上げます。

私からはこの会員スピーチについて、どんな話をしたら良いか、というヒントになるような内容をお伝えしたいと思います。

本年度、会員スピーチのテーマは「波瀾万丈の人生」です。

個人的には話しやすいと思って設定しましたが、難しいテーマでしたか？

◆各講演内容のポイント

1. 100年～150年おきに繰り返してきた南海トラフ巨大地震 必ず起きる！
- 「トラフ」とは、水深6,000メートル以下
「海溝」とは、水深6,000メートル以上
(日本海溝、千島海溝、伊豆・小笠原海溝、琉球海溝)

100～150年おきに繰り返してきた南海トラフ巨大地震



100～150年おきに繰り返してきた南海トラフ巨大地震 2024.08.09
過去の南海トラフ地震を振り返ってみると、時間差で2度に分かれて発震しているケースが何度もある。
2024年8月8日午後4時42分ごろ、日向灘(宮崎県東部沖)を震源とする地震が発生、宮崎県日南市で震度6弱の揺れを観測した。震源の深さ31キロ、地震の規模(マグニチュード)は7.1と推定される。(法律制定後初の「臨時情報」発表)

白鳳(はくほう)地震 仁和(いにいな)地震

◆684年11月29日 白鳳地震 (M8.3)

震源域：足振岬(高知県土佐清水市)沖～潮岬(和歌山県串本町)沖
被害：山崩れ、河津ま、郡官舎や寺社の倒壊多く、人畜死傷 津波襲来で土佐で船が多数沈没

◆887年8月26日 仁和地震 (M8.3)

震源域：足振岬から潮岬(静岡県)沖にかけての領域
被害：京都で諸官舎や民家の倒壊があり、圧死者多数、津波が沿岸を襲い溺死者多数

明応東海地震 宝永地震

◆1498年9月20日 明応東海地震

震源域：瀬戸沖から駿河湾にかけての領域
被害：紀伊から伊豆(千葉県)にかけての海岸と甲斐(山梨県)で地震動が大きく、甲斐(山梨県)の津波が伊豆半島から九州に至る太平洋沿岸で津波襲来

◆1707年10月28日 宝永地震 (M8.6)

震源域：遠州灘沖～高知県の沖合までの広い範囲
被害：駿河湾は太平洋津波だけでなく、甲斐(山梨県) 西部、信濃(長野県) 北部、東海(岐阜県) 西部など範囲に及ぶ。駿河中央部、甲斐西部、伊豆半島から九州に至る太平洋沿岸で津波襲来

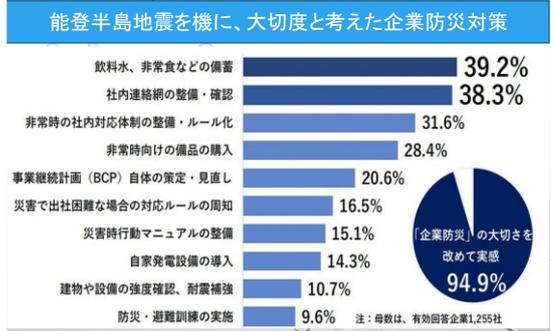
◆1854年12月23日 安政東海地震 (M8.0) ◆1854年12月24日 安政南海地震 (M8.4)

震源域：東海地震は紀伊半島東部沖～駿河湾、南海地震は紀伊半島沖～四国沖、300kmに及ぶ。東海、南海の両方で発生
被害：最大被害は大坂湾河口付近、甲斐・松本・信濃でも発生、高松～土佐の沿岸に津波

◆1944年12月7日 昭和東南海地震 (M7.9) ◆1946年12月21日 昭和南海地震 (M8.0)

震源域：東南海地震は紀伊半島東部沖～遠州灘、南海地震は紀伊半島西部～西国太平洋沿岸、2年差で発生、両側から発生
被害：東南海地震は静岡、愛知、岐阜、三重で大きな被害、南海地震では、東海半島から九州までの広い範囲に津波襲来

3. 1月1日 16時10分能登半島地震が発生(能登半島の面積は東三河と同じくらい) 能登半島地震後の企業防災について紹介(企業防災のアンケート)(被災企業の記事)



能登半島地震から学ぶ 被災企業記事

令和4年度 事業継続力強化計画 認定 経済産業省

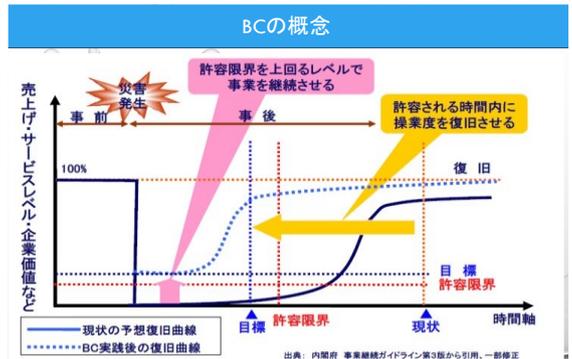
金型落下、BCP更新へ 設備個別復旧

4. 事業継続計画(BCP) 事業継続力強化計画の内容を解説します。

事業継続(BC)とは

◆事業継続(Business Continuity: BC)の定義

- 企業・組織が、いかなる状況(軽微、甚大、壊滅)に直面しても、優先順位に基づく重要業務を事業継続戦略を用いて目標復旧時間内に再開し、事業を継続すること
- これにより企業・組織の責任を全うし、不測の自体においても生き残りや発展につなげることを可能とするのが事業継続(BC)
- また、事業継続を実現できる企業・組織の力が**事業継続能力**である



『事業継続』いかなるリスクにも対応

今までの取り組み 一歩踏み出す BCP(地震等・建物使用不可等) 様々な事業リスク対応

防災対策 事業継続力強化計画(経済産業省認定) 事業継続計画(原因型・結果型) 次世代BC(マルチハザード)

消防検査 認定(経済産業省) レジリエンス認証

社会変化

RISK

2. 8月8日発生した日向灘沖地震で(16時40分頃発生)で、南海トラフ臨時情報の「南海トラフ臨時情報が発令されました。法律制定後初めて。臨時情報検討会後、南海トラフ地震臨時情報「巨大地震注意」が発表された。南海トラフ臨時情報「巨大地震警戒」が発表されれば、1週間の避難指示が出ます(豊橋市は事前に避難地域域発表されています)。*避難地域は市町村で決める。

南海トラフ臨時情報の取るべき行動

M6.8以上の地震、通常と異なるゆっくりすべりなどの現象発生

南海トラフ臨時情報+キーワード

5~30分後 「南海トラフ地震臨時情報(調査中)」

2時間後~

南海トラフ地震臨時情報(巨大地震警戒) 南海トラフ地震臨時情報(巨大地震注意) 南海トラフ地震臨時情報(調査終了)

発表から1週間 発表される所業 発表される所業

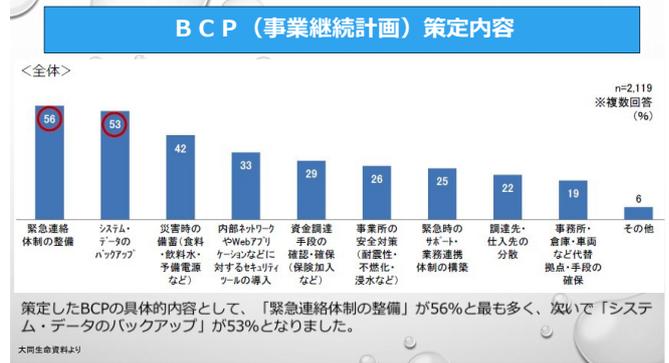
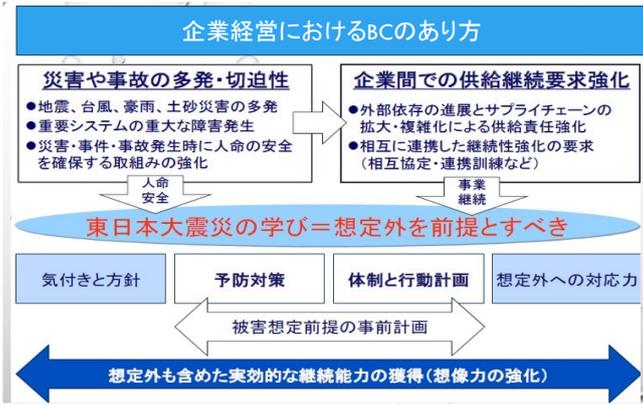
南海トラフ地震臨時情報とは 「南海トラフ地震臨時情報」は、南海トラフ沿いで異常な現象を観測された場合や地震発生の可能性が相対的に高まっていると評価された場合に、気象庁から発表される情報です。情報名の後にキーワードが付記され「南海トラフ地震臨時情報(調査中)」等の形で情報発表されます。

豊橋市内事前避難対象地域

事前避難対象地域

第16回防災フェア 豊橋市防止危機管理発表資料より

- (町字ごとの地域)を含む小学校区
- 新芝小学校区
- 津田小学校区
- 吉田小学校区
- 吉田小学校区
- 年島小学校区
- 磯辺小学校区
- 汐田小学校区
- 大崎小学校区
- 杉山小学校区
- 豊南小学校区(海洋)
- 高根小学校区(海洋)
- 小沢小学校区
- 細谷小学校区(海洋)



6. 南海トラフ巨大地震（自然災害リスク）に企業としてどのような備えを推進すべきか！

BCP作成推進が必要又BCPを推進するためには、従業員の出社が不可欠！企業・従業員が「負の連鎖」を少しでも軽減することが必要です。自社の為地域社会の為是非「リスク対策」に取り組みましょう。

中小企業強靱化法に基づく「事業継続力強化制度」

- 中小企業が「防災・減災の事前対策に関する計画を経済産業大臣が認定」。
- 認定を受けた中小企業は、**税制優遇や補助金の加算**などの支援策を活用可能。

【計画認定のスキーム】

中小企業・小規模事業者
連携して計画を実施する場合は：大企業や経済団体等の連携者

①計画を策定し申請 → ②認定

経済産業大臣（地方経済産業局）

認定対象事業者

- 防災・減災に取り組む中小企業・小規模事業者の皆様。

事業継続力強化計画の記載項目

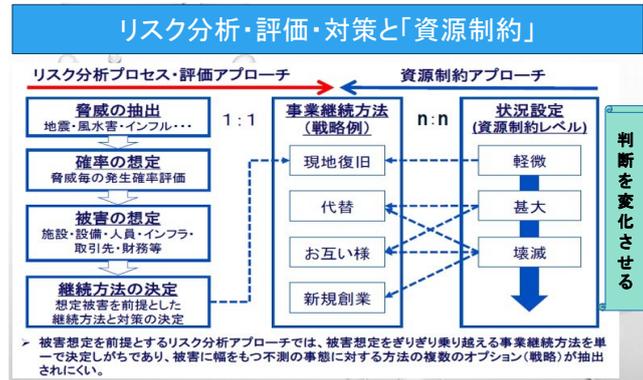
- 事業継続力強化に取り組む目的の明確化。
- ITマップ等を活用した、自社拠点の自然災害リスク認識と被害想定策定。
- 防災時の初動対応手順（安全確認、被害の確認・発信手順等）策定。
- ヒト、モノ、カネ、情報・災害から守るための具体的な対策。

※自社にとって必要で、取り組みを始めようとする項目について記載。

- 計画の推進体制（経営層のコミットメント）。
- 訓練実施、計画の見直し等、取組の実効性を確保する取組。
- (連携をして取り組む場合)連携の体制と取組、取組に向けた関係社の合意。

認定を受けた企業に対する支援策

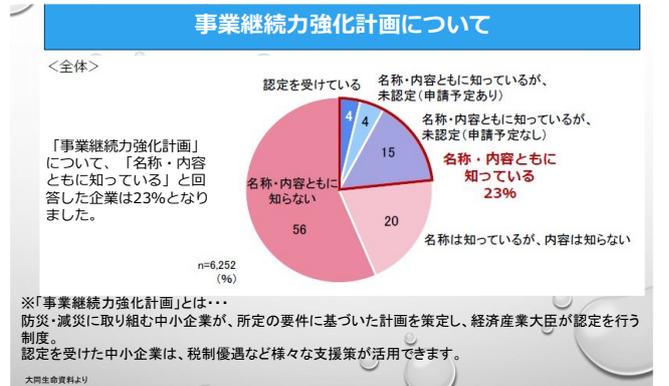
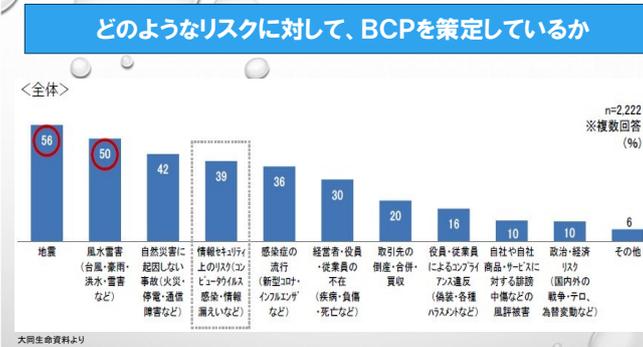
- 中小企業庁HPでの認定を受けた**企業の公表**
- 認定企業にご活用いただける**ロゴマーク**（会社案内や名刺に認定のPRが可能）
- 防災・減災設備に対する**税制措置**
- 補助金（ものづくり補助金等）の優先採択
- 連携をいただける企業や地方自治体等からの支援措置



5. BCP作成状況説明（TDP調査報告）

BCP策定済：12%策定予定：23%等

どのようなリスクに対してBCPを策定しているか？：地震、風水害、事故、情報セキュリティ、感染症、経営者・従業員の不在等



★ニコボックス

本多英司・鬼頭秀幸：今まさに避けては通れない事業継続計画を学ぶ時間です。彦坂様よろしくお願ひ。

高橋哲也：彦坂様ようこそ豊橋ゴールデンRCへ。

宮川嘉朗：四つのテストを唱和させて頂き。

梅田英樹・高井龍雄：鈴木紳昭：入会記念日をお祝い頂き。

山口幹夫：例会参加の支援に感謝です。

鵜殿健次：いとしのドラゴンズ。今年は優勝勝ちました。せめて最下位脱出！がんばれドラゴンズ。

井上 穂・今川明彦：ニコボックス委員長久しぶり！！

青木一臣：先週は台風で新幹線が止まり当日欠席し申し訳ありませんでした。2日延泊しても運休が続き大阪まで迎えに来てもらいました。

牧 岳大：8/30父 土屋仁が帰幽いたしました。温かいお言葉をたくさんかけて頂き感謝。

青木一臣ニコボックス委員長

★幹事報告

・名古屋みらい RC よりメールアドレス変更のお知らせ、ロータリー文庫より 2023-24 年度決算報告書が届いております。

★他クラブの例会変更

- 9月20日(金) 新城RC 姉妹クラブ協定調印式
- 9月24日(火) 宝 飯RC ガバナー公式訪問合同例会
- 9月26日(木) 田 原RC 海岸清掃
- 豊 橋RC クラブフォーラム